ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

シートNO.

ボーリング名	B-2(NO.29+7.0M)	調査位置						北　緯	36 ° 50 ' 45.0000 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所　企画調査部			調査期間	2008-01-25 ～ 2008-01-28			東　経	140 ° 03 ' 22.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	198.20 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機 / ハンマー落下用具
総掘進長	9.50 m								エンジン / ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	197.80	0.40	0.40		シルト (M)	黒褐		軟らかい	0.30m付近まで耕作土 植生根・腐植物混入		
1 2 3	194.30	3.50	3.90		ローム (Lm)	茶褐～赤茶褐		中位	火山灰質粘性土 植生根・腐植物混入 含水比上位・粘性中位 1.70m付近まで軽石粒・砂分混入以深、粘性上位となり均質 3.50m付近よりスコリア粒散在しやや固結状		
4	194.05	0.25	4.15		スコリア (Sc)	赤褐		軟らかい	粒径φ1～3mm程度で砂分混入		
5 6 7 8 9	188.70	5.35	9.50		ローム (Lm)	茶褐～赤茶褐～淡茶褐		軟らかい	火山灰質粘性土 腐植物多く混入 含水比・粘性上位 赤褐色の軽石粒・スコリア粒散在 6.40m付近より粘性下位になり半固結状呈す 8.70m付近より含水比高くなり粘性上位になる 下部は乳白色の軽石粒散在		01/27

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	2	2	5／30	5
1.45					
2.15	1／35			1／35	1
2.50					
3.15	1／15	1／15		2／30	2
3.45					
4.15	1／65			1／65	0
4.80					
5.15	1／15	1／20		2／35	2
5.50					
6.15	1	1	1	3／30	3
6.45					
7.15	1	3	2	6／30	6
7.45					
8.15	1	1	1	3／30	3
8.45					
9.15	1／15	1／20		2／35	2
9.50					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日